

第4次「地域福祉計画(地域保健計画)」・「健康ひがしむらやま21」推進概要

「東村山市第4次地域福祉計画」(平成24年3月)より

1. 基本的課題

(1) 健康寿命の延伸

○ 東村山市の平均寿命と65歳健康寿命は、東京都区・各市においてほとんど横並びの状況であるが、当市では若干、東京都平均を上回っており、その傾向は男女とも横ばい状態にある。

(2) がん・循環器病予防対策

○ 当市の死亡率は、東京都平均と比べ、また市部の平均と比べて高い状態で推移している。

○ 平成22年度死因で多いものから順に、がん・心疾患・肺炎と続き、肺炎が脳血管疾患を抜き第3位に逆転している。これは全国の動向と同じで、がんと肺炎による死亡の増加は、高齢者の人口比率が増加していることが影響している。

○ 特定健康診査の結果では脂質異常が最も多く、次いで高血圧・肥満であり、40歳代半ばから50歳代60歳代の男性に多い。

(3) 介護予防の推進

○ 要介護等認定者数は増加傾向にあり、比較的軽度の認定者、及び要介護重度の認定者が増加している。

※要支援1・要介護1・要介護5は年々増加。H24年度末時点の要介護・要支援認定者は、6,715人(うち65歳以上6,501人)で、65歳以上全体の18.2%を占める。

平成25年度取り組みの要旨

(1)がん検診受診率の向上

(2)特定健診・保健指導の受診率(利用率)の向上

(3)保健推進員活動を中心とした地域保健活動の推進

(4)震災等発生時の医療救護活動・新型インフルエンザ等、新興・再興感染症の健康危機発生時の対応力向上と拡大防止対応

<推進体制の要旨>

(1)市で行う健康教育や健康相談の充実を図るとともに、三師会(医師会・歯科医師会・薬剤師会)多摩小平保健所との連携を深め、複合的に講座等健康教育の場を拡充する。

(2)身近な地域で、健康教育や相談の機会である保健推進員活動を推進し、一体的に取り組めるようにする。